



龍ヶ崎済生会病院 泌尿器科

あらき あきひろ
荒木 彰弘

<学歴>

1994年3月 筑波大学医学専門学群 卒業

<略歴>

1994年4月 筑波大学附属病院泌尿器科医員

1995年4月 水戸済生会総合病院泌尿器科医員

1999年8月 筑波大学附属病院泌尿器科医員

1999年12月 北茨城市立総合病院泌尿器科医員

2000年8月 つくばセントラル病院泌尿器科部長

2002年7月 東京都立駒込病院泌尿器科医員

2004年8月 龍ヶ崎済生会病院泌尿器科 医員

2005年4月 龍ヶ崎済生会病院泌尿器科部長

<資格>

日本泌尿器科学会専門医

日本泌尿器科学会指導医

<所属学会>

日本泌尿器科学会

<ご挨拶>

泌尿器科に限りませんが私の職務上、最も重要なポイントは、病気を出来るだけ早く、しかも正確に診断すること、専門的な話をなるべく分かりやすく説明すること、最善と考えられる治療をミスなくしかも必要な患者さんだけに行う、という3つであると考えております。

3つとも極めて当たり前のことなのですが、それが当たり前でなくなってしまった時に患者さんは不幸を被ってしまいます。診断・説明・治療という3つの診療行為が密接に関係しているのは間違いないのですが、しかし実は、かなり性質が異なる行為だと最近、感じるようになりました。

3つのポイントのどれもが疎かにならぬよう私は、患者さんの運命を決定付ける瞬間瞬間を意識しながら、全力で診療に当たりたいと思います。ところが説明を余りにも分かりやすく行おうとすると、外来では時間がかかり過ぎてしまい、他の患者さんの待ち時間が増えてしまうという結果に陥ります。そのような事態を招かぬ努力も忘れぬようにしたいと考えております。

また、ご不明な点・ご心配なことがありましたらどうぞ、お気軽にご質問下さい。